

デジタル庁と共同開催！医療機関・薬局向けマイナ保険証 利用促進セミナー

医療機関・薬局への一時金・顔認証付きカードリーダーの増設支援の補助金の期間延長について

厚生労働省 保険局

医療機関等におけるマイナ保険証利用促進のための支援（一時金）

○ 2024(R6)年5月～7・8月のマイナ保険証利用人数の増加量に応じ、最大20万円（病院は40万円）を一時金として支給。

※ 利用率の更なる底上げのため、利用人数の増加に応じ、かつ定額の給付とすることにより、医療現場にとってより分かりやすい形にすることで、医療現場の窓口において集中的に取り組んでいただくお声かけや新たなチラシ配布等の利用促進の取組を後押しする。

※ 一時金については、2024(R6)年5月～7・8月のいずれかの月のマイナ保険証利用人数について、2023(R5)年10月実績及び同月利用人数からの増加量に応じて支給する。

※ ①窓口での共通ポスターの掲示と②来院患者へのお声かけ・マイナ保険証の利用を求めるチラシの配布の徹底を一時金の支給条件に。

※ 令和5年10月診療分のレセプト件数が150件以下の施設（小規模施設）については、規模に配慮した区分を設定。

		10月実績からの増加件数（※下段は病院の要件）																			
		1人 以上	10人 以上	10人 以上	20人 以上	30人 以上	50人 以上	70人 以上	80人 以上	100人 以上	160人 以上	240人 以上	10人 以上	40人 以上	80人 以上	150人 以上	250人 以上	350人 以上	450人 以上	540人 以上	720人 以上
10月実績	3%未満	0		0		0		3万	5万	7万	10万	15万	17万	20万	10万	12万	15万	20万	30万	35万	40万
	3～5%	0		0		3万	5万	7万	10万	15万	17万	20万	30万	35万	40万						
	5～10%	0		3万	5万	7万	10万	15万	17万	20万											
	10～20%	3万	5万	7万	10万	15万	17万	20万													
	20～30%	5万	7万	10万	15万	17万	20万														
	30～40%	7万	10万	15万	17万	20万															
	40%～	10万	15万	17万	20万																
		10万	12万	15万	20万	30万	35万	40万													
		12万	15万	20万	30万	35万	40万														
		15万	20万	30万	35万	40万															

		10月実績からの増加人数						
		1人 以上	5人 以上	10人 以上	15人 以上	25人 以上	35人 以上	40人 以上
10月実績	3%未満	0	0	1万	1.5万	2.5万	3.5万	5万
	3～5%	0	1万	1.5万	2.5万	3.5万	5万	
	5～10%	1万	1.5万					

※小規模施設であっても令和5年10月の実績が10%以上の場合や5～10%で10人以上増加の場合は小規模施設でない方の要件を満たすこととなる。
 ※小規模施設区分の上限を超えた場合、通常の基準で給付を受けることも可能¹

先行事例に学ぶ「利用率を伸ばす方法」 ～利用率向上を見込める6つの主要な対応策～

多くの医療機関・薬局がマイナンバーカードの利用を前提とした、予約、院内・薬局内掲示、窓口でのお声かけで利用率を向上させています。

予約(病院・診療所の場合)

- 患者さんからの予約電話時や、HPの予約画面に
「**マイナンバーカードをお持ちください**」とご案内していますか？

院内・薬局内掲示

- 入り口の扉や施設内の目に入る位置に、マイナンバーカードで
受付ができる旨を告知するポスターを掲示していますか？
- 患者さんが迷わないように、施設内の掲示物などの従来の健康保険証の提示を
求める記載を、マイナンバーカードの利用を求める内容に見直していますか？
- 受付の分かりやすい位置に顔認証付きカードリーダーを設置していますか？

窓口でのお声かけ

- 受付で「**マイナンバーカードをご利用ください**」等とご案内していますか？
- マイナンバーカードを持っていない／まだ利用登録していない方へ、
窓口で次回の利用案内や登録方法のご案内をしていますか？

一時金の支給を受けるには

一時金の支給を受けるには、①窓口での共通ポスターの掲示、②患者さんへお声かけの徹底と、マイナ保険証の利用を求めるチラシの配布の徹底が必要です。

ポスター

とっても簡単! マイナンバーカード

- 1 受付**
マイナンバーカードをカードリーダーに置いてください。
- 2 本人確認**
顔認証または4桁の暗証番号を入力してください。
- 3 同意の確認**
診察室等での診療・服薬・健診情報の利用について確認してください。
- 4 受付完了**
お呼びするまでお待ちください。

カードを忘れずに!

医療DXを通じた質の高い医療の提供にご協力ください。

厚生労働省 日本医師会 日本歯科医師会 日本薬剤師会

<https://www.mhlw.go.jp/content/12400000/001241676.pdf>

チラシ

⚠️ ご注意ください!
本年**12月2日**から
現行の健康保険証は発行されなくなります
※12月2日時点で有効な保険証は最大1年間有効です

**マイナンバーカード
をご利用ください**
今回お持ちでない方は次回ご持参ください

マイナンバーカードの保険証利用登録がまだの方
➡️ 利用登録は窓口（カードリーダー）でできます

厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/content/12400000/001241691.pdf>

※ポスターとチラシ(印刷用台紙)は5月初旬に社会保険診療報酬支払基金より医療機関・薬局へ郵送しています。

医療機関等向けポータルサイトの利用（報告フォーム・利用率等の確認）

一時金の支給のために、自機関の取組状況について、報告フォームでの回答をお願いいたします。
また、支給額を確認するうえで、昨年10月時点や直近のマイナ保険証の利用率・利用人数はポータルサイトから確認いただけます。

マイナ保険証利用促進集中取組月間(令和6年5月～7月)と一時金について

更新者: 一般職員11 • 15 日前 • 表示回数: 194626 • ★★☆☆☆

一時金の支払要件 達成状況報告フォームはこちら

▼▼▼▼回答期限【8月31日(土)】▼▼▼▼

※回答を訂正したい場合、再度ご回答いただけますようお願いいたします。

※支払基金やコールセンターにお問い合わせをいただいても、回答内容の照会及び訂正はできません。

・リンク

[ログイン - 医療機関等向け総合ポータルサイト \(service-now.com\)](https://service-now.com)

過去の利用率・利用人数の確認はこちらからお願いします！

https://iryohokenjyoho.service-now.com/csm?id=csm_login_custom



マイナ保険証利用促進のための医療機関等への支援について

医療機関・薬局における顔認証付カードリーダー増設の支援

マイナ保険証利用件数が多い医療機関・薬局について、顔認証付きカードリーダーの増設を支援

7月末の時点で要件を満たす医療機関・薬局に対しては、個別にメールをお送りしています！

○補助内容

2023(R5)年10月から2024(R6)年7・8月までのいずれかの月のマイナ保険証の月間利用件数の総数が500件以上の機関については、顔認証付きカードリーダー1台の増設に要した費用の一部を補助する。

なお、病院については、以下の条件に応じ、顔認証付きカードリーダー最大3台まで、増設に要した費用の一部を補助する。

機 関	利用件数	500～999件	1,000～1,499件	1,500～1,999件 ※1台運用機関1,500件以上	2,000～2,499件 ※2台運用機関2,000件以上	2,500件以上
1台の無償提供を受けた施設		1台	2台	3台	—	—
2台の無償提供を受けた施設		—	1台	2台	3台	—
3台の無償提供を受けた施設		—	—	1台	2台	3台

○補助対象・補助率

顔認証付きカードリーダー・資格確認端末の購入費用・工事費に対して1／2補助。

〔補助上限額〕

病院	1台	2台	3台
	275,000	450,000	625,000

診療所 薬局	1台
	275,000

補助金の申請期限は来年1月15日ですが、カードリーダーの生産には注文から2～3か月ほどかかるため、12月に向けて、今のうちからの増設のご検討をいただくことが重要です。

カードリーダーの増設に向けて

患者さんへの声かけとともに、利用件数が増加してカードリーダーを増設した医療機関もあります。今カードリーダーの増設の必要を感じていなくても、12月を見据えて、是非とも補助の活用をご検討下さい。

(参考) カードリーダーを増設した医療機関の例

マイナンバーカード持ってますか？マイナンバーカード作ってますか？ というシンプルな声掛けとSNSでの周知で効率的に利用率を向上

【医療機関名】医療法人 光診会 ほんだ皮膚科クリニック
【院長】 本田 治樹
【顔認証付きカードリーダー設置台数】 2台
【所在地】 〒606-0053 京都市左京区上高野車地町139 宝ヶ池クリニックモール3F
【Webサイト】 <https://honda-skinclinic.com/>

R5.12→R6.1

マイナ保険証利用率 **18.0%増加**※

※同施設の令和5年12月と令和6年1月のマイナ保険証利用率（マイナ保険証利用数÷オンライン資格確認回数）を比較。尚、マイナ保険証利用促進のための支援金施策の算出根拠とは異なります

この他のマイナ保険証
利用促進の好事例は、
リンク先をご覧ください！
共通 - マイナ保険証利用率
増加に向けた取り組み
(service-now.com)

POINT

シンプルな声かけの徹底とSNSでの広報でマイナ利用率を急増。結果、保険証預かりの煩わしさが減少

■ シンプルに患者への声かけを徹底

- メリット等を細かく説明するのではなく、マイナンバーカードを持っていますか？とシンプルな声かけを実施。また「持ってますか」でなく、マイナンバーカードを作っていますか？と患者ごとに柔軟に切り替えながら声かけを実施
- 声かけを徹底するために、受付のオペレーションについて毎日職員と会話。12月以降の健康保険証発行廃止に向けて今から準備が必要なることを説明して受付オペレーションを統一
- 声かけによりネガティブな反応をする患者はほとんどいない



現在は2台の
カードリーダーを設置

患者への声かけと共に
利用件数が増えてきた後に
カードリーダーを**1台から2台**に増設

1台では混雑時に列ができることも
あったが、2台になることにより
混雑が解消されていった

■ Instagram等のSNSを通じた広報

- Instagram等のSNSを通じてマイナンバーカードの健康保険証利用を呼びかけ、徐々に患者に浸透させている



https://www.instagram.com/honda_skinclinic